

「評価結果の概要」

センターが把握している圏域の特徴 2023 年 4 月 1 日現在

【圏域の人口等】

圏域人口：65,433 人

高齢者人口：16,290 人

高齢化率：24.90%

豊中市の北東部に位置し、吹田市にまたがる千里ニュータウンとして万博の頃に関
発された校区と 400 年以上の歴史を持つ校区もある圏域となっている。ニュータ
ウンは、還暦を迎え、再整備や土地区画整理事業、集合住宅の建て替えによる高層化住
宅が整備されている。若年層の入居も増えているが、高齢化率は微増、後期高齢者も
徐々に増えている。緑も多く整備された景観で交通の便も良い千里への愛着を持ち、
住み続けたい住民は多い。高齢になると坂道や階段が多いこと、建て替えによる景観
や生活の変化、重装備なつくりが暮らしに支障をきたす要因となる場合がある。

取り組み方針や特徴

【センターの運営方針】

- ・豊中市地域包括支援センター運営基本方針に沿って、事業計画を立て取り組みを行
う。
- ・「地域包括ケアシステムの構築」を目指し、職員のスキルアップを図り、ネットワ
ーク構築や住民主体の活動をサポートしていく。

【特に力を入れて活動している点】

「地域包括ケアシステムの構築」の実現に向けて

- ・地域の見守り体制や支援体制を拡充していくために、関係機関に限らず企業や店舗
等にも広く出向き、地域支援事業や協力体制について声をかけ、地域包括支援センタ
ーの窓口機能をお知らせし、点を増やしながら紡ぎ続けている。
- ・認知症高齢者の支援体制の構築のため、認知症サポーター養成講座の実施、カフェ
の開設、継続支援を行う。認知症サポート医のみならず、地域の医療機関、関係機関、
住民とも共同し必要な医療・介護・福祉・地域へつないでいく。
- ・介護予防・セルフケアの取り組みの充実に向け、市・千里包括独自の介護予防手帳
を用いた普及・啓発を行う。
- ・様々な状況下でも活動の継続ができるよう少人数でも対応、オンラインによる対応

もしている。

【活動の中での課題やその解決策】

課題) 増加する高齢者に対応できる資源が不足してきている。

解決策) 介護予防で健康寿命促進、セルフケアの普及、地域力の向上が図られることで、自立支援の意識や生活に移行していく。

総評

【特徴的な取組内容】

● 圏域内の社会資源・介護資源に限界が見えてきている中、住民主体の予防や活動の拡充に努められており、自主的な集いの場等、住民の自主グループを主体とした活動のバックアップや専門職によるフォロー拡充等が行われています

● こども食堂等の活動に幅広い世代の参加を促し、年代層を超えた交流や支えができる地域作りを意識して取り組まれています。住民の声を基に、お散歩マップの作成と活用、まちあるき報告の作成で、住民主体の活動拡充や意識向上にも繋がられています。まちあるき報告を行う事によって、高齢者の視点に限らない、様々な住民目線での気づきも得られています。

● 圏域内独自の多職種間連携の場の構築により、幅広い医療関係者・介護関係者との連携が推進されています。障害者相談支援センターとの協働拡充により、事例共有検討等で圏域内に具体的な取り組みを伝えることができます。多職種連携を基に、集いの場活動やサロン活動への参加や協力につなげられた事例もあります。

【さらなる質の向上の余地がある点】

● 圏域内の社会資源減少や、重層的支援が必要な対象者が増加する中、より一層の多職種連携、地域住民の意識向上による支援の拡充につなげていけるよう期待します。

● コミュニティの変容に伴う地域課題の解決に向けたネットワークのより一層の強化に期待します。